

オープンショーケース用超音波加湿器

FT-S series

FT-420S/SUV 520S/SUV

FT-420SC1/SC1UV 520SC1/SC1UV

取扱説明書

このたびは、ユーキャン超音波加湿器をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、取付、保守、点検を行って下さい。

要保存

施工業者の皆様へ。
工事完了後、ユーザーの方へお渡し下さい。

ユーキャン株式会社

安全上のご注意

ご使用前に、必ずお読み下さい。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

ここに示した注意事項は、加湿器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しております。安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています



注意

人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れのある内容を示しています

※トランスボックスに表示している記号の意味について



感電注意を表しています。



警告

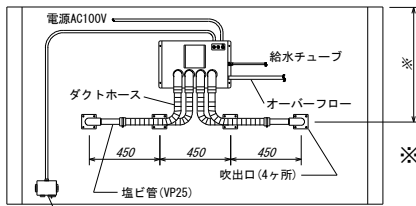
- UVランプ搭載機種では、裸眼でUVランプを見ないで下さい。失明の原因となります。
- 濡れた手で電装部をさわらないで下さい。感電の原因となります。
- ACケーブルを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないで下さい。傷ついた部分から漏電して火災や感電の原因となります。
- ACケーブルを束ねたり、結んだりして使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、主電源を抜いて下さい。その後直ちに販売店または最寄りの営業所（巻末に記載）までご連絡下さい。
- 本器の不必要な分解、改造をしないで下さい。火災や感電の原因となります。

注意

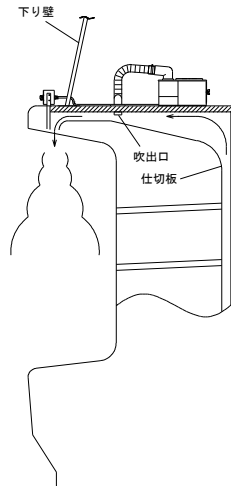
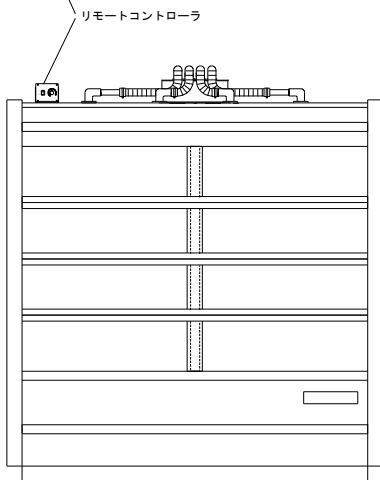
- UVランプ搭載機種では、UVランプの光を皮膚に長時間当てないで下さい。皮膚の炎症を起こす原因となります。
- 運転中は、移動したり振動をあたえないで下さい。感電、漏電の原因になります。
- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないで下さい。加湿器が倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないで下さい。火災の原因になることがあります。
- 緊急時に電源を落とせるように、ブレーカーの周りには物を置かないで下さい。異常時にブレーカーが落とせず、火災や感電の原因になることがあります。
- 指定以外の電源電圧で使用しないで下さい。火災や感電の原因になることがあります。
- アース線は必ず接続して下さい。
- 回路チェックにメガテスターは使用しないでください。高電圧で電子部品故障の原因になることがあります。
- 寒冷地、氷点下で使用する場合は、凍結防止の処置を給水配管全てに行ってください。凍結によりホースが破裂することがあります。
- 振動子の寿命は約5,000時間です。使用環境、条件により寿命が短くなる場合があります。
- 水槽内の水を清潔に保つため、3日に一度は水槽内部、及び吹出ダクトホース内部の清掃を行ってください。雑菌が繁殖することがあります。
- 清掃の時は、電源を切って下さい。感電の恐れがあります。
- 加湿器を長時間使用しない時は水槽の水を捨てて下さい。排水をしないで引き続き使用しますと、雑菌等により異臭を発生することがあり、身体に悪影響を及ぼすことがあります。
- 手入れが出来ない場合は、電源を切ると自動的に排水する排水電磁弁(オプション)をお勧めします。
- 加湿器には水以外の物を使用しないで下さい。故障を起こし、火災や感電の原因になることがあります。

1. 加湿器本体の設置方法

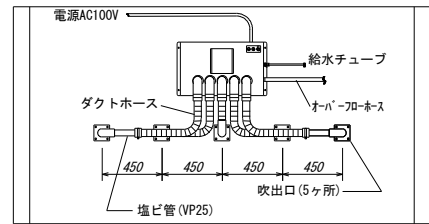
●FT-420SC1の場合



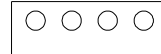
※ 仕切り板が傾斜していない機種は冷気吹出口からドレンが滴下するのを防ぐ為200~450にすること。



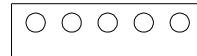
●FT-520Sの場合



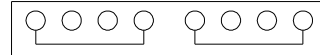
ショーケース・サイズ別設置例



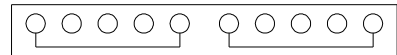
●6尺ケース・・・FT-420S (420SC) × 1



●8尺ケース・・・FT-520S (520SC) × 1



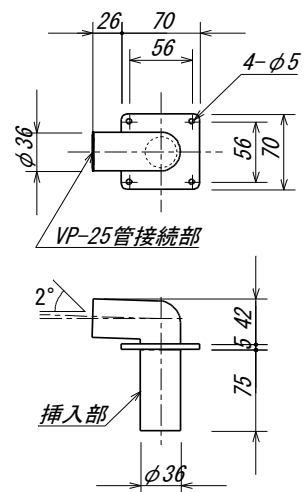
●12尺ケース・・・FT-420S (420SC) × 2



●16尺ケース・・・FT-520S (520SC) × 2

1. 加湿器はケースの中心に水平に設置します。
2. 吹出口の取付は、ケース上部外板にφ42~45の穴をあけ、断熱材を除去した後、中板にφ38~40を貫通し、付属のタッピングビスで止めます。二重エアカーテンの場合は、インナー側気流に噴霧させるように取り付けて下さい。
3. 付属のVP-25（塩ビ管）をケースに合わせ、適当な長さに切り、吹出口エルボにノリ付けします。外側左右2個の吹出口ダクトホース接続部には、塩ビ管を適当な長さに切り取り付けて下さい。
4. 付属のダクトホースを本体及び吹出口に接続し、ホースバンドで締め付けます。その場合、途中ドレンたまりが出来ないように先下りにして下さい。

吹出口寸法図



リモートコントローラーご使用の場合（FT-SC1/SC1UVタイプ）

リモートコントローラーの取付は、ケース正面手前の手の届く位置に付属のタッピングビスで取り付けてください。また、リード線末端の6Pコネクタを電源トランス背面のリセプタクルコネクタへ差し込んでください。

リモートコントローラーは、霧の量を無段階に変えられます。また、運転、停止の行えるON-OFFスイッチが付いていますので、別に加湿器発停用のタンプラースイッチを設ける必要はありません。

2. 配管工事

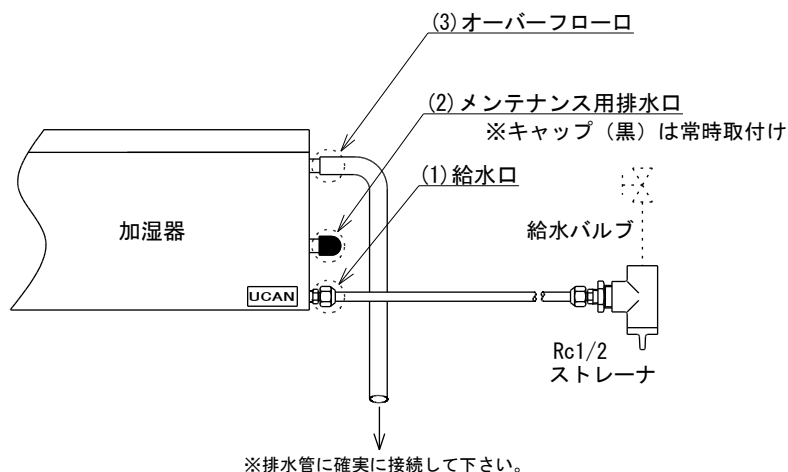
給水は、市水または上水を供給してください。給水圧は、0.03MPa～0.5MPa (0.3～5.0kgf/cm²) の範囲内で供給してください。公共の水道に直接接続することは出来ません。自家用受水槽、もしくはシスターンを設けて下さい。冬期0℃以下になる場合では、加湿器水槽内の水の凍結、給・排水系統の凍結防止策を行ってください。

※補給水の水質について

超音波加湿器は、水を微細な霧状にして空気中へ噴霧しますので水に溶解している鉱物質はそのまま空気中へ放出され、蒸発とともにそれらは“白い粉”となって空気中に浮遊したり、室内の機器類や壁面などに付着します。コンピューターのディスプレイがチラついたり、クリーンルームに塵埃が浮遊するなどさまざまな不都合を生じることがあります。このような“白い粉”の発生を防止するには、RO純水装置などで処理した水を供給する必要があります。

(弊社製品では、UPRシリーズ、UPWシリーズがこれに該当します。ご検討の際は弊社各営業所までお問い合わせください。また、工場設備の超純水等をご使用になる場合、配管等に悪影響を及ぼす場合があります。弊社までお問い合わせください。)

- ① 本体への給水接続は、1/2インチ管を用います。本体の給水接続口より1m以内に配管して下さい。
- ② 管末には、ストップバルブを取り付けて下さい。
- ③ 付属の銅管及び1/2インチストレナで本体に接続します。なお、本体へ接続する前にしばらくバルブを開き、管の中のゴミを洗い流して下さい。この作業を怠りますと、加湿が正常に行われなかったり、電磁弁のゴミ噛みを生じ、オーバーフローする原因になります。
- ④ オプション排水電磁弁付き以外の排出口にはキャップ（黒）がついています。メンテナンス時以外は絶対に外さないで下さい。キャップが外れていると加湿運転しません。
- ⑤ オーバーフローは正常な運転状態では起こりませんが、本器内の給水電磁弁にゴミが詰まった場合、本体の取り付けが水平でない場合など異常時にオーバーフローすることがあります。付属のビニールホースを排水管に確実に接続して下さい。

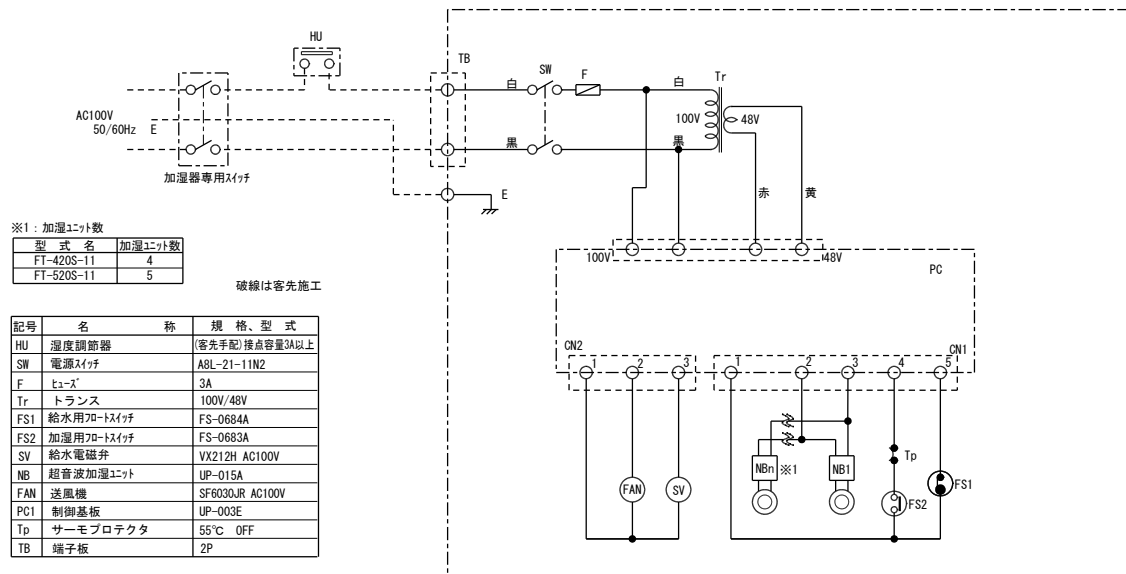


↑ 注意
・機種によって給水口、排水口、オーバーフロー口の位置が異なります。
・排水口キャップ（黒）が外れていると加湿運転しませんのでメンテナンス時以外は外さないで下さい。

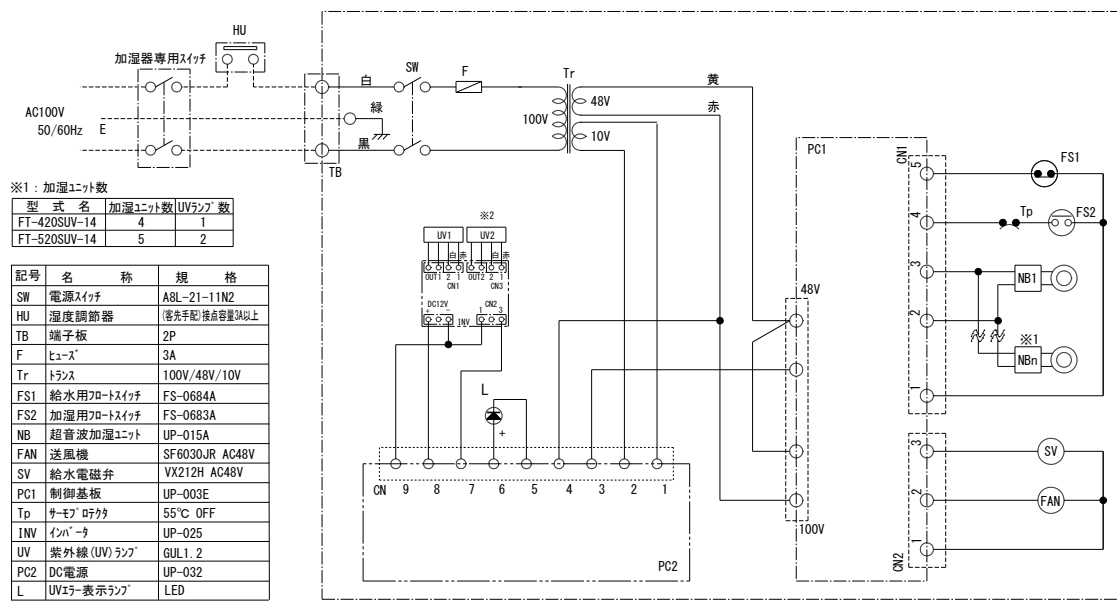
3. 電気工事

1. 電源はAC100Vです。電源接続口のネジを外し、端子台を手前に引き出して配線してください。
2. 電源はショーケースのファン回路とインターロックして下さい。
3. 手の届く位置に加湿器専用スイッチを設けて下さい(リモートコントローラ一付き仕様のFT-SC/SC1UVタイプは不要です)。
4. 加湿器本体のスイッチをONにしてください。

●FT-420S, FT-520S 電気回路図



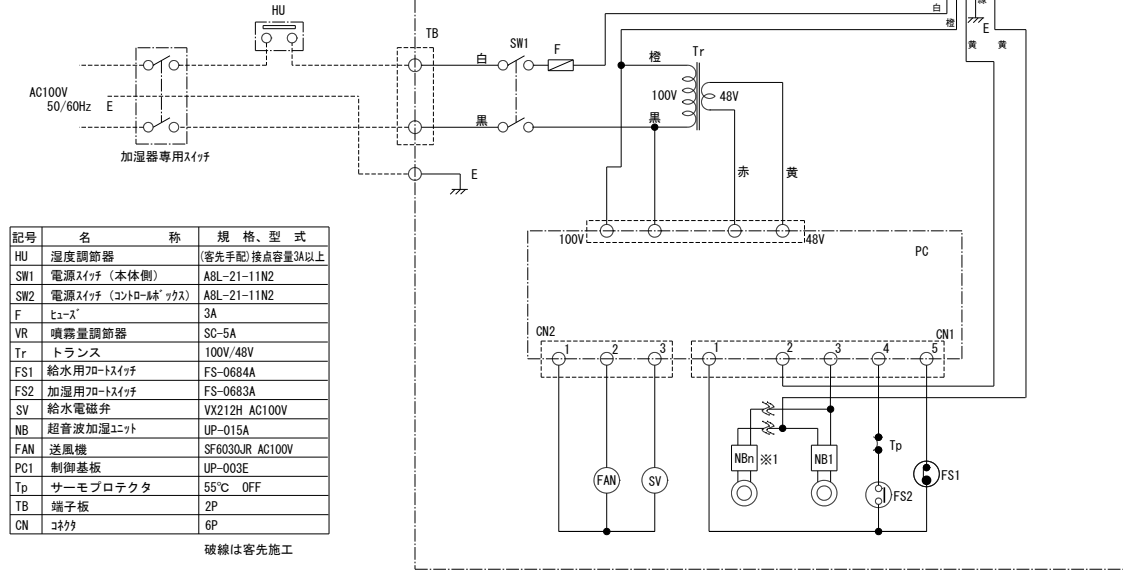
●FT-420SUV・FT-520SUV 電気回路図



●FT-420SC1, FT-520SC1 電気回路図

※1: 加湿ユニット数

型 式 名	加湿ユニット数
FT-420SC1-11	4
FT-520SC1-11	5

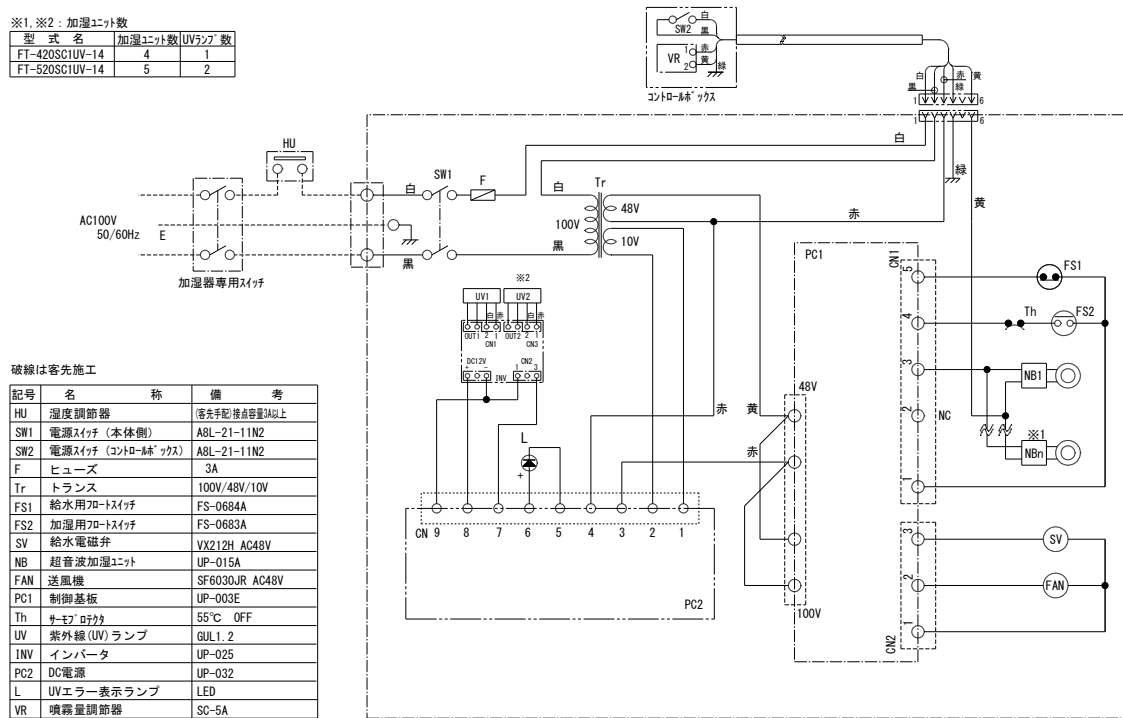


記号	名 称	規 格、型 式
HU	湿度調節器	(客先手配) 接点容量3A以上
SW1	電源スイッチ (本体側)	A8L-21-11N2
SW2	電源スイッチ (コントロールボックス)	A8L-21-11N2
F	ヒューズ	3A
VR	噴霧量調節器	SC-5A
Tr	トランス	100V/48V
FS1	給水用70-トスイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用70-トスイッチ	FS-0683A
SV	給水電磁弁	VX212H AC100V
NR	超音波加湿ユニット	UP-015A
FAN	送風機	SF6030JR AC100V
PC1	制御基板	UP-003E
Tp	サーモプロテクタ	55°C OFF
TB	端子板	2P
CN	コネクタ	6P

●FT-420SC1UV・FT-520SC1UV 電気回路図

※1, ※2: 加湿ユニット数

型 式 名	加湿ユニット数	UVランプ数
FT-420SC1UV-14	4	1
FT-520SC1UV-14	5	2



記号	名 称	備 考
HU	湿度調節器	(客先手配) 接点容量3A以上
SW1	電源スイッチ (本体側)	A8L-21-11N2
SW2	電源スイッチ (コントロールボックス)	A8L-21-11N2
F	ヒューズ	3A
Tr	トランス	100V/48V/10V
FS1	給水用70-トスイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用70-トスイッチ	FS-0683A
SV	給水電磁弁	VX212H AC48V
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
FAN	送風機	SF6030JR AC48V
PC1	制御基板	UP-003E
Th	サーモプロテクタ	55°C OFF
UV	紫外線 (UV) ランプ	GUL1.2
INV	インバータ	UP-025
PC2	DC電源	UP-032
L	UVエラー表示ランプ	LED
VR	噴霧量調節器	SC-5A

※2. FT-420SC1UVはUV2なし。また、CN3-1-2間をジャンパ-すること。

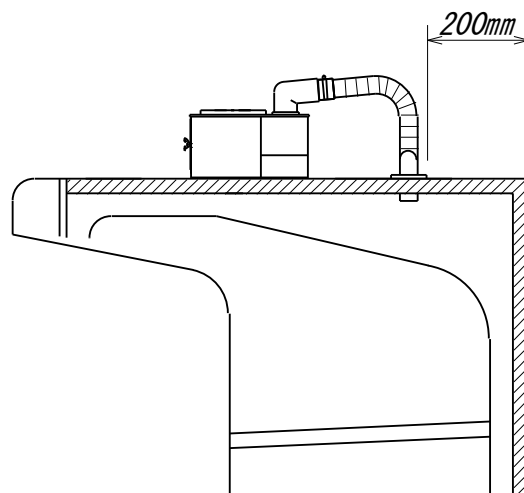
4. 運転方法

- 1) 給水弁を開き、電源を入れて給水を行います（ケースのファンが動いているか確認して下さい）。リモートコントローラー付き（FT-SC1/SC1UVタイプ）の場合は、パワースイッチをONにして下さい。
- 2) 規定の水位に達すると、空運転防止用フロートスイッチが解除され、加湿運転を開始します。リモートコントローラー付きの場合は加湿ボリュームを調整し、霧の量が一番望ましい状態で噴霧する位置に合わせてください。
- 3) 規定の水位に達すると、給水用フロートスイッチが作動し、給水は停止します。その後、加湿により水位が低下すると自動的に給水が繰り返されます。
- 4) 断水した場合は、空運転防止用フロートスイッチが作動し、運転は自動的に停止します。
- 5) 水圧が高い場合、給水用フロートスイッチが急激に作動し、電磁弁がカチカチと音を発することがあります。バルブを絞って調節して下さい。配管各部の水漏れがないことを確認して下さい。
- 6) ケース吹出口からの噴霧状態を確認してください。特殊仕様のケースは、風量や開口部の状況から噴霧量が減少することがあります。また、極端に噴霧量が少ない場合は、加湿器の水槽内に油膜などが付着していることがありますので、上蓋を開け、点検して下さい（油膜が付着している場合は、排水後、油膜をふき取って下さい【トラブルシューティング参照】）。
- 7) 配管各部の水漏れがないことを確認してください。

注意

- 運転中に本器を持ち上げたり、動かしたりしないで下さい。
- 通電した状態で本器を横倒しや逆さまにしないで下さい（空運転状態になり、超音波発振回路が故障します）。
- 標準の取付方と逆に設置する場合は、吹出口はケース背面より200mm程度離してください（下図参照）。
- 吹出口がハニカム状になっている場合、ハニカムに水膜が出来て霧が出ないことがあります。この場合は、格子状の吹出口に変更してください。

※垂直ダクトの真上に吹出口を設けるとケースのファンの静圧及び気流の影響を受けて、霧の出が悪くなる場合があります。



5. 各部の保守・点検方法

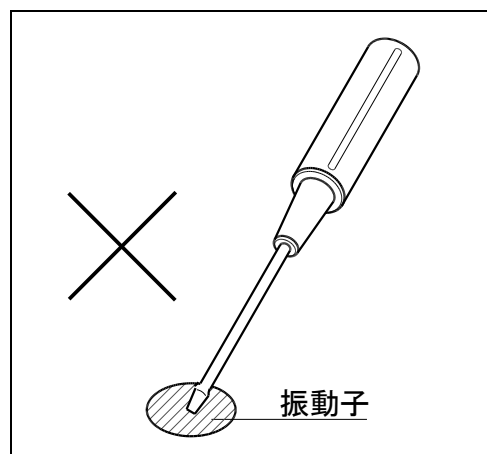
加湿器を正常に運転するため、次の手順にて手入れを行ってください。

■エアーフィルターの手入れ（推奨：一週間に一回）

- ① 蝶ネジを外し、エアーフィルターを取り出します。
- ② 手ではたくか圧搾空気にてホコリを除去します（汚れのひどいときは中性洗剤につけ、押し洗いします。乾燥後再びセットしてください）。

■水槽・振動子の手入れ

- ① 電源スイッチを切って下さい。
- ② 吹出部、及び水槽上蓋を取り外します。
- ③ 排水を行い、水槽の汚れを柔らかいウェスなどで拭き取ります。
- ④ 振動子（丸い金属板）の表面は柔らかい布などで汚れを拭き取ります。決してドライバーなど固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。
- ⑤ 汚れを取り除いた後、電源スイッチを入れて給水し、もう一度排水して水槽内部をクリーンにして下さい。



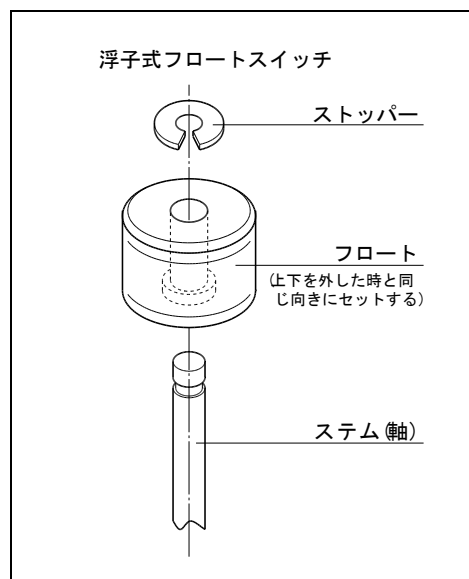
⚠ 注意

水槽内、ダクトホース、噴霧ノズルは水質や空気中のホコリにより汚れやすいですから、保健衛生上定期的に（3日に1度）清掃を行ってください。生鮮食品、生物への加湿を行う場合は、毎日清掃を行ってください。

■フロートスイッチの手入れ

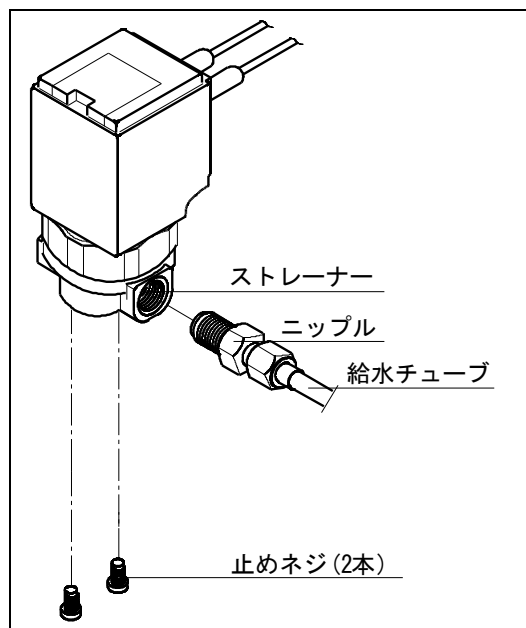
FT-S/SC1シリーズ標準タイプは浮子型フロートスイッチを使用します。

- ① 通常はフロートを指で上下に動かし、スムーズに動けばOKですが、念のため、軸部、フロート部の汚れは丁寧に拭いて下さい。
- ② ストッパーを外し、軸フロートを拭いて掃除して下さい。
- ③ フロートは、上下の向きが決まっています。見落としの無いように外す前に良く確認してから行って下さい（フロート下部に磁石が来ます）。



■電磁弁の手入れ

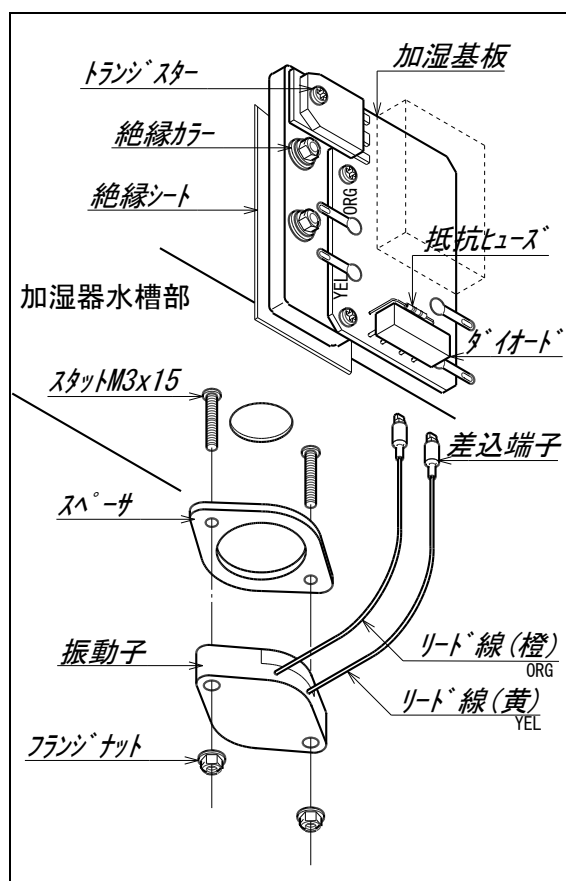
- ①給水バルブを閉め、電源を切ってから作業にかかって下さい。
- ②スパナで給水チューブ、及びニップルを外します。
- ③電磁弁をとめてある2本のネジを外し、電磁弁を取り出します。
- ④ストレーナーにゴミが詰まっていれば、それを取り除いて下さい。
- ⑤電磁弁の故障の場合は交換して下さい。
- ⑥元通りに組み立てて下さい。このときプランジャーなどにゴミが付着しないように注意して下さい。



■振動子の点検・交換の仕方

水槽底部の振動子（丸い金属）は、長期間使用するうちに経年劣化し、霧化量が減少していきます。新しい振動子に交換することで、加湿量が蘇ります。

- ①振動子をとめている2ヶのフランジナットを外して下さい。（3mmナット用のボックスドライバ使用）
- ②基板に差し込んである黄色と橙色のリード線を抜き、振動子を取り外します。
- ③新しい振動子に交換し、フランジナットを締めます。このとき、片締にならないよう左右バランス良く締めて下さい。
- ④リード線の差込端子をYEL（黄色）、ORG（橙色）の表示通り差し込みます。



<超音波振動子の交換（5,000時間程度）>

累計運転時間が約5,000時間になりましたら、振動子の交換時期です。早めに交換してください（振動子の交換時期は設置されている周囲の環境や水質、手入れの状況により早くなる場合があります。本器一ヶ年の保証期間中でも振動子の交換費用は実費請求させていただきます）。

■UVランプの手入れ（UVランプ搭載機種のみ）

ランプ外管（石英ガラス管）の汚れを柔らかい布などで拭き取ります。決してドライバーなど固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。ガラス管が破損することがあります。

■UVランプの交換方法

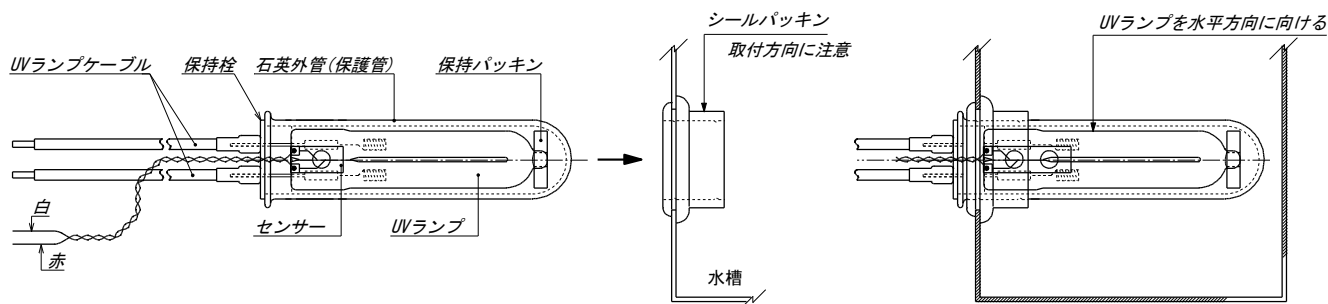
経年劣化によりランプが光量不足になると、センサーが働き加湿器本体を停止させます。それと同時に、トランスボックスの「UV不良表示ランプ」が点灯しますので、その際は最寄りの営業所にご連絡下さい（各営業所の連絡先は裏表紙に記載してあります）。

※UVランプの寿命は約10,000時間です。

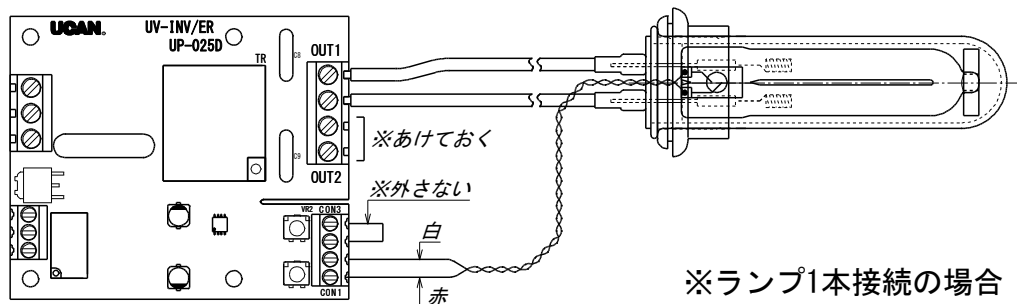
※弊社から交換部品としてUVランプを出荷する際は、①石英外管（保護管）②保持パッキン③センサー④保持栓⑤ケーブルを組み合わせたセットで供給いたします。バラ売りはできませんのであしからずご了承ください。

【UVランプ交換手順】

- ① UV-INV基板 から、既設UVランプの電源ケーブルおよびセンサーのケーブルを抜きます。
- ② 「UVランプ」を石英外管ごと水槽部から抜きとります。
- ③ 新品の「UVランプ」を水槽部シールパッキンに挿入します。このときシールパッキンがよじれたり外れたりしないようご注意ください。
※シールパッキンにキズや劣化がある場合は、新品に交換して下さい。漏水の原因になります。
- ④ UVランプが水平になるように調整して下さい。



- ⑤ UVランプケーブルを“UV-INV基板”のOUT1またはOUT2に接続します。
接続方法：端子台の上部にあるネジをゆるめ、ケーブルを差し込み、ネジを締め付けます。
※UVランプケーブルには極性はありません。
- ⑥ 同様に、センサーからのケーブルを“UV-INV基板”のCON1またはCON3に接続します。
※センサーには極性がありますので、下図を参照の上、赤・白線の接続位置を間違えないように接続して下さい。また、わたり線がある場合はそのままにしておいて下さい。



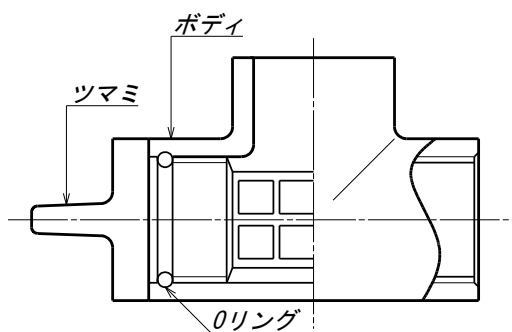
■ストレーナの手入れ

- ① 反時計方向に回し、ストレーナを取り出します。
- ② ストレーナ底部にゴミがたまっていれば、それを取り除いて下さい。
- ③ 元通りに組み立てます。



注意

- 試運転前・メンテナンス時・清掃時などにおいては、キャップをしっかりと締め切り、ツマミとボディの間が密着していることを確認してください。
- キャップを絞め込むときには、ストレーナ内を水抜きした状態で絞め込みしてください。（水圧が原因でOリングが変形し、水漏れの原因となる場合があります。）



6. トラブルシューティング

故障したとき、まず先に点検することは・・・

故障？	チェック	処置
給水されない	●バルブは開いていますか	●バルブを開く
加湿器が作動しない	●電気はきていますか ●電源スイッチはONになっていますか	●テスターでチェックする ●スイッチを入れる
スイッチを入れても加湿器が作動しない	●ヒューズは切れていませんか ●湿度調節器の目盛は正常ですか、ONになっていますか	●切れていれば、付属のスペアと交換する ●ダイヤルを高い湿度方向へ回す
霧の出方が少ない	●ダクトホース内に水が溜まっていますか	●傾斜をつける（先下がり）

以上を点検し、それでも解決しない場合は、原因を究明し、対処する必要があります。

■故障の原因

- ①霧化量が減少してきた状態で長時間運転を続けた場合、トランジスタが故障することがあります。
- ②横倒しや逆さまな状態で通電すると、フロートスイッチが入り、空運転してしまい、トランジスタが故障します。
- ③加湿量よりも給水量が少ない場合、ON-OFFを頻繁に繰り返し、故障することがあります。水圧最低0.03MPa(0.3kgf/cm²)
- ④トランスへの電圧を間違え、200Vを通電してしまったとき。(トランスのサージフィルタがパンクします)
- ⑤落雷など、大きなサージが入ったとき。
- ⑥基板の回路チェックにメガテスターを使用したとき。
- ⑦砂、石、鉄粉などが水槽に入ったままの状態、長時間運転を続けた場合。
- ⑧電磁弁にゴミがかみ、オーバーフローしてしまう場合があります。

■対処の仕方

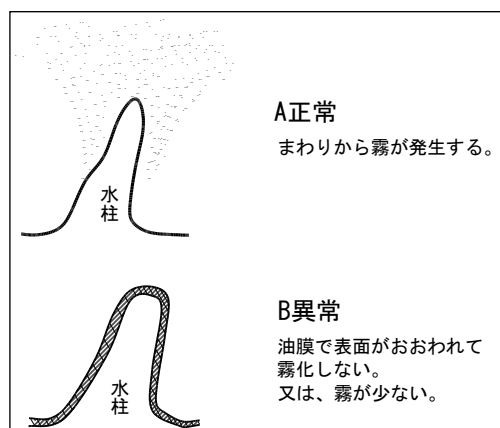
- 霧化量が減少してきた場合（故障の原因①の場合）

<設置後まもなくの時>

- ①水槽内の水に油成分、配管用接着剤などが混入している場合は、霧化が正常に行われません。電源を切ってから一度排水し、中性洗剤、スポンジタワシで水槽内を清掃後、再度給水して下さい。泡が消えるまで排水を続けます。
- ②電源電圧が低下していないかチェックして下さい。

<長時間使用后>

- ①振動子の表面に汚れがたまっていないか調べて下さい。汚れている場合には、柔らかい布などで拭き取って下さい。
- ②振動子の表面を覆っているメッキがはがれていたり、傷ついている場合は振動子の寿命です。新しい振動子と交換して下さい。

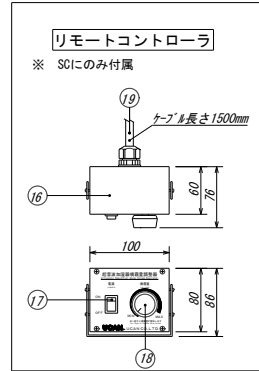
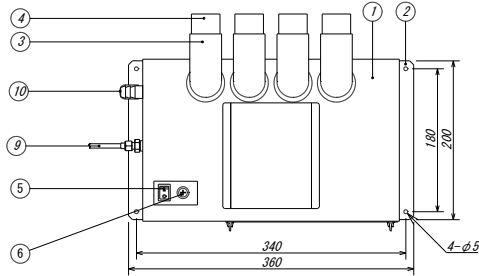


7.仕様

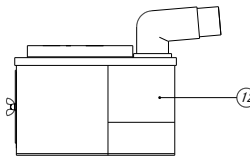
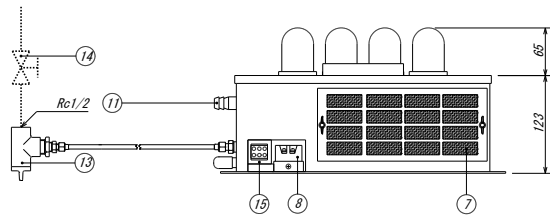
本体外形仕様図

・FT-420S/SC1

加湿器本体

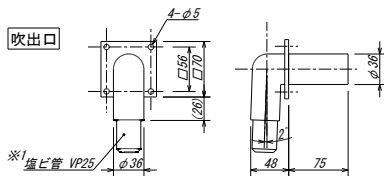


品番	品名	備考
1	上蓋	SUS430
2	取付台	SUS430
3	回転式噴霧口	ABS樹脂
4	ダクトホース接続口	φ32 ABS樹脂
5	電源スイッチ	-
6	ヒューズ	-
7	エアフィルタ	PS-150
8	電源ケーブル接続端子	2P
9	給水接続口	φ6チューブ
10	排水口 (キャップ付)	ABS φ13.5
11	オーバーフロー接続口	ABS φ13.5
12	水槽	SUS304
13	ストレーナ	(標準付属品)
14	給水バルブ	(客先手配)
15	リモートコントローラ接続口	6P
16	リモートコントローラ本体	SUS430
17	コントローラ側電源スイッチ	-
18	噴霧量調整ツマミ	-
19	コントロールケーブル	VCTF



標準付属品

品名	備考
給水チューブ	φ6.0 L=1000
オーバーフローホース	φ12×φ16 L=1000
ダクトホース	φ32×440 2本 φ32×630 2本
ホースバンド	φ38 8個
タッピングビス	4×16 20本
吹出口	4本 (※1:内2本は塩ビ管ナシ)
塩ビ管	(VP25) L=300 2本
ストレーナ	BC接続口径 Rc1/2

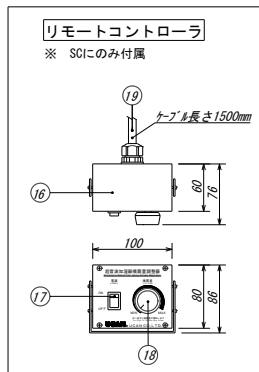
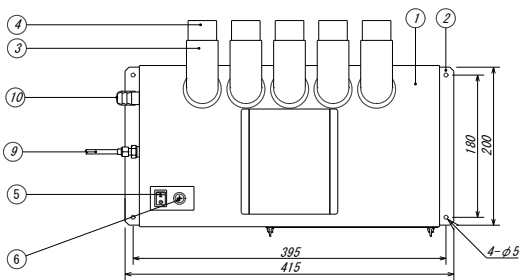


標準仕様

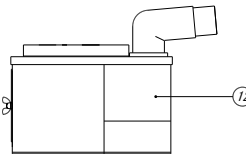
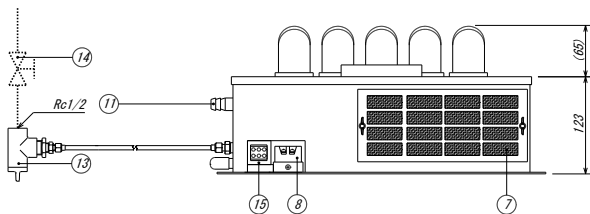
項目	最大加湿量 (L/h)	加湿ユニット数	電源	消費電力 (VA)	風量 (m ³ /min)	給水方式 給水圧力	安全機能	周囲条件	重量 (kg)
FT-420SC1	2.0	4	AC100V (AC200V)	150	0.6	配管による自動給水 0.03~0.5MPa	漏水防止 過電流防止 水温上昇防止 チリ電流検出	5℃~40℃ 90%RH以下	7.5

・FT-520S/SC1

加湿器本体

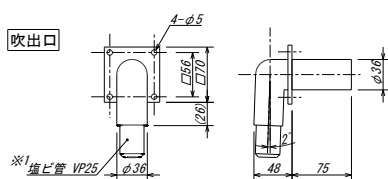


品番	品名	備考
1	上蓋	SUS430
2	取付台	SUS430
3	回転式噴霧口	ABS樹脂
4	ダクトホース接続口	φ32 ABS樹脂
5	電源スイッチ	-
6	ヒューズ	-
7	エアフィルタ	PS-150
8	電源ケーブル接続端子	2P
9	給水接続口	φ6チューブ
10	排水口 (キャップ付)	ABS φ13.5
11	オーバーフロー接続口	ABS φ13.5
12	水槽	SUS304
13	ストレーナ	(標準付属品)
14	給水バルブ	(客先手配)
15	リモートコントローラ接続口	6P
16	リモートコントローラ本体	SUS430
17	コントローラ側電源スイッチ	-
18	噴霧量調整ツマミ	-
19	コントロールケーブル	VCTF



標準付属品

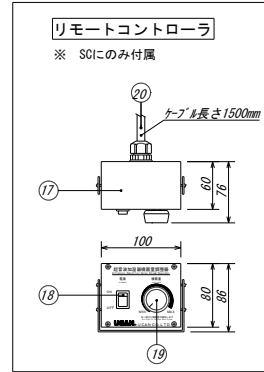
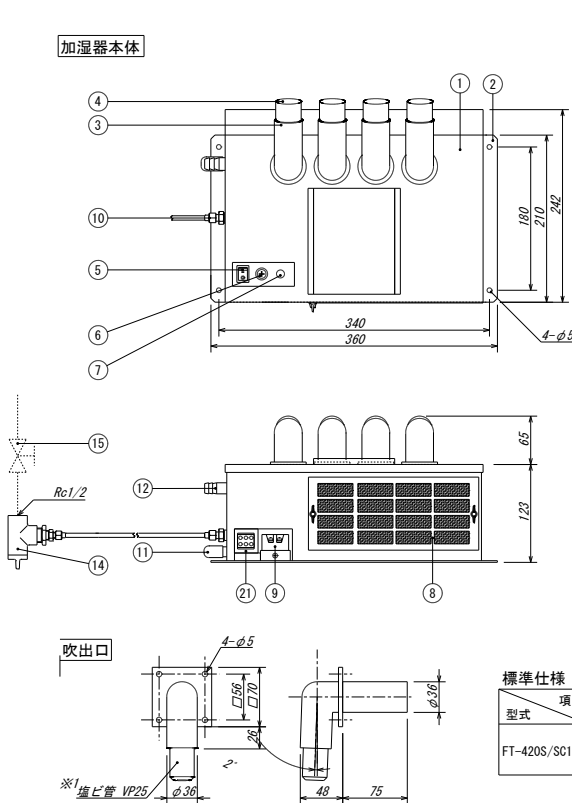
品名	備考
給水チューブ	φ6.0 L=1000
オーバーフローホース	φ12×φ16 L=1000
ダクトホース	φ32×340 φ32×440 2本 φ32×630 2本
ホースバンド	φ38 10個
タッピングビス	4×16 24本
吹出口	5本 (※1:内2本は塩ビ管ナシ)
塩ビ管	(VP25) L=450 2本
ストレーナ	BC接続口径 Rc1/2



標準仕様

項目	最大加湿量 (L/h)	加湿ユニット数	電源	消費電力 (VA)	風量 (m ³ /min)	給水方式 給水圧力	安全機能	周囲条件	重量 (kg)
FT-520SC1	2.5	5	AC100V (AC200V)	180	0.6	配管による自動給水 0.03~0.5MPa	漏水防止 過電流防止 水温上昇防止 チリ電流検出	5℃~40℃ 90%RH以下	8.5

・ FT-420SUV/420SC1UV



品番	品名	備考
1	上蓋	SUS430
2	取付台	SUS430
3	回転式噴霧口	ABS樹脂
4	ダクトホース接続口	φ32 ABS樹脂
5	電源スイッチ	-
6	一次側ヒューズ	-
7	UVエラー表示ランプ	-
8	エアフィルタ	PS-150
9	電源ケーブル接続端子	2P
10	給水接続口	φ6 チューブ
11	排水口	ABS φ13.5
12	オーバーフロー	ABS φ13.5
13	水槽	SUS304
14	ストレーナ	標準付属品
15	給水バルブ	(客先手配)
16	UVランプカバー	SUS430
17	リモートコントローラ本体	SUS430
18	コントローラ側電源スイッチ	-
19	噴霧量調整ツマミ	-
20	コントローラケーブル	VCTF
21	リモートコントローラ接続口	6P (SCのみ)

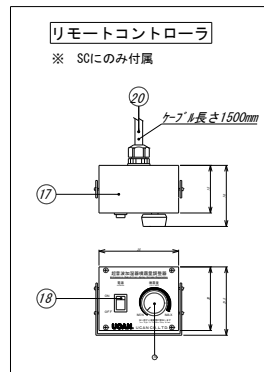
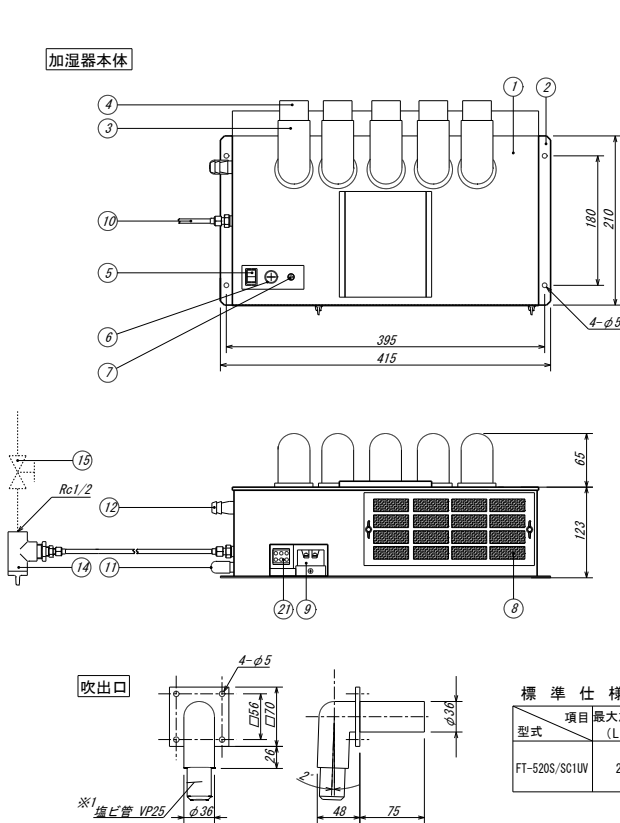
標準付属品

品名	規格
給水チューブ	φ6 L=1000
オーバーフロー	φ12×φ16 L=1000
ダクトホース	φ32×440 2本 φ32×630 2本
ホースバンド	φ38 8個
吹出口	4本 (※1:内2本は塩ビ管付)
タッピングビス	M4×16 20本
塩ビ管	(VP25) L=300 2本
給水ストレーナ	接続口径 Rc1/2

標準仕様

項目	最大加湿量 (L/h)	加湿ユニット数	UVランプ	電源	消費電力 (VA)	風量 (m ³ /min)	給水方式 給水圧力	安全機能	周囲条件	重量 (kg)
FT-420S/SC1UV	2.0	4	1	AC100V (AC200V)	154	0.6	配管による自動給水 0.03~0.5MPa	漏水防止 過電流防止 水温上昇防止 ナシ 電流保護	5℃~40℃ 90%RH以下	8.0

・ FT-520SUV/520SC1UV



品番	品名	備考
1	上蓋	SUS430
2	取付台	SUS430
3	回転式噴霧口	ABS樹脂
4	ダクトホース接続口	φ32 ABS樹脂
5	電源スイッチ	-
6	一次側ヒューズ	-
7	UVエラー表示ランプ	-
8	エアフィルタ	PS-150
9	電源ケーブル接続端子	2P
10	給水接続口	φ6 チューブ
11	排水口 (キャップ付)	ABS φ13.5
12	オーバーフロー接続口	ABS φ13.5
13	水槽	SUS304
14	ストレーナ	(標準付属品)
15	給水バルブ	(客先手配)
16	UVランプカバー	SUS430
17	リモートコントローラ本体	SUS430
18	コントローラ側電源スイッチ	-
19	噴霧量調整ツマミ	-
20	リモートコントローラケーブル	VCTF
21	リモートコントローラ接続口	6P (SCのみ)

標準付属品

品名	備考
給水チューブ	φ6.0 L=1000
オーバーフロー	φ12×φ16 L=1000
ダクトホース	φ32×340 φ32×440 2本 φ32×630 2本
ホースバンド	φ38 10個
タッピングビス	4×16 24本
吹出口	5本 (※1:内3本は塩ビ管ナシ)
塩ビ管	(VP25) L=450 2本
ストレーナ	BC 接続口径 Rc1/2

標準仕様

項目	最大加湿量 (L/h)	加湿ユニット数	UVランプ	電源	消費電力 (VA)	風量 (m ³ /min)	給水方式 給水圧力	安全機能	周囲条件	重量 (kg)
FT-520S/SC1UV	2.5	5	2	AC100V (AC200V)	184	0.6	配管による自動給水 0.03~0.5MPa	漏水防止 過電流防止 水温上昇防止 ナシ 電流保護	5℃~40℃ 90%RH以下	9.0

保証規定

1. 本製品の保証期間は、工場出荷後一年間です。
2. 保証期間中の「正常な使用状態」において「製造上」の責任による故障が発生した場合は無償修理を行います。
3. 保証期間中でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 取扱説明書の説明をお守りにならなかったために発生した故障の場合。
 - (ロ) 故障原因が本器以外による故障の場合。
 - (ハ) お客様が商品に改造を加えたために発生した故障の場合。
 - (ニ) 火災、震災などの天災地変による故障および損害。
 - (ホ) お買い上げ後の輸送、移動などによる故障の場合。
 - (ヘ) 振動子交換
4. 遠隔地への出張サービスを行った場合の宿泊および交通の費用は、弊社旅費規程によりその費用を請求させていただきます。
5. 本商品の保証修理以外での補償は致しかねます。
6. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせ、ご用命は

UCAN[®]

ユーキャン株式会社

本 社	●〒193-0832	東京都八王子市散田町5-6-19 TEL. 042-665-8846 FAX. 042-661-3887
東京営業所	●〒160-0022	東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル TEL. 03-5379-1461 FAX. 03-5379-1460
大阪営業所	●〒541-0046	大阪市中央区平野町1-7-14 平野町グランドビル TEL. 06-6227-1317 FAX. 06-6227-1319
名古屋営業所	●〒460-0002	名古屋市中区丸の内3丁目2-1-2-3 宇佐美丸の内ビル TEL. 052-385-3298 FAX. 052-385-3606
福岡営業所	●〒812-0027	福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館 TEL. 092-281-9241 FAX. 092-281-9244

なお、記載された商品の仕様・デザインなどは、改良のため予告なく変更することがございます。ご了承下さい。

<http://www.ucan.co.jp/>
info@ucan.co.jp

2200622